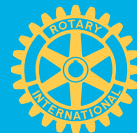




人類に奉仕する
ロータリー

RI第2510地区

留萌ロータリークラブ



会報

2016 ▶ 2017
WEEKLY REPORT

留萌ロータリークラブ 会長目標 **友情の和を助け
奉仕の和を助けよう**

会長 / 渡邊裕久 幹事 / 高橋理佳

プログラム

(第17号・第18号) 合併号

- 本日
職場訪問例会 / 自衛隊留萌駐屯地
会員誕生日
中 出 敏 彦
- 次週予定
ロータリークイズ
~クイズに答えて、ロータリーを知ろう~
配偶者誕生日
大 嶋 裕 子

No. 2718

第17回 10月26日

出席報告

前例会

会員総数.....38名
出免会員.....6名
出免出席.....4名
基準会員出席.....19名
出席率.....63.89%

前々例会

第14回 10月2日

欠席会員.....11名
内メイクアップ.....3名
修正出席率.....70.59%

例会 / 毎週水曜 12:15~13:15 留萌産業会館2F

🖋️ 会長報告

1. 地区米山記念奨学会の学友会の総会案内をいただきました。日時は11月6日で、札幌市にて開催されます。

👤 幹事報告

- 赤平RCより11月例会案内を受領いたしました。
- 本日、先週に引き続き、台風災害義援金の募金箱を回しております。先週お休みの方、今秋お財布に余裕のある方はよろしく申し上げます。
- 10月17日付けでロータリー財団地区補助金の入金の確認をいたしました。通園センターの支援事業ですので、社会奉仕委員会、財団委

員会の方はよろしく申し上げます。

- 国際ロータリー第2510地区ガバナーエレクト事務所開設のお知らせをいただきました。

👥 委員会報告

前年度幹事 福士 会員
大変遅くなりましたが、前年度の報告書が完成いたしました。中身に不備があればお知らせください。これをもって前年度の幹事の仕事を終わりました。ありがとうございました。

🎵 愛好会

音楽カラオケ愛好会 高田 愛好会幹事
今年度第2回目の音楽カラオケ愛好会を11月9日(水)午後6時30分より、ワンポイントにて

開催いたします。参加費は3,000円です。現在既に8名の会員の出席をいただいております。まだ日にはありますので、どしどしご参加して下さい。

パソコン愛好会 阿部 愛好会会長

明日、木曜日午後7時より、ワンポイントにて愛好会を開催いたします。会費は3,000円となっております。宜しくお願いします。



3分間情報・・・・・・・・

会員研修会 高田 委員

四つのテストが出来るまでの経緯と、それがもたらした成果について、先週少しお話をしましたが、テーラーはまず第一にしなければならない事は、どんな商売をするにしても欠く事の出来ない事であるが、高邁な倫理と道徳に基づいた会社の経営方針を固める事であった。それで簡単にすぐ覚えられる行動方針～倫理の物差しと言うものが必要であった。

会社の者が暗記できて、取引の際の考え、言葉、行い、全ての面に利用できる倫理基準が必要であった。この要求に適うものがあるか多くの本をひっくり返して探してみたが、適当なものは見つからなかった。そこでテーラーは自分の力だけで答えられない時によくするように、すべてをお見通しの全能の神に、すべてを委ねる事にした。

テーラーは頭を抱え、机によりかかって神に祈った。と、暫くして彼は頭を上げ、紙に手を伸ばしたかと思うと何やらそこに書き付けていたのである。

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

彼はこれを「四つのテスト」と呼び、私たちが考えたり、言ったり、行ったりする際の指針にしようとした。

その後2ヶ月、この四つのテストについて色々考え、仕事上のいくつかの問題やケースに

当てはめた末、会社の四人の部課長を呼んで「四つのテスト」について彼らと話し合った。

次の段階は会社の全社員にこの四つのテストを知らしめ、仕事上、取引上彼らが考えたり、言ったり、行ったりする事すべてに「四つのテスト」を応用した。

こうして四つのテストは、クラブ・アルミニウム製品会社の経営方針となった。とは言え、四つのテストをすべての仕事にあてはめる事は時として厳しい場合もあった。

しかし、四つのテストを出来るだけ忠実に実行する事によって、デイラーと消費者だけでなく、同業者の間にも善意を築く事が出来るようになった。

神のご加護＝四つのテスト＝これは私の祈りに神が答えて下さった贈り物であるとテーラーは思った。

善良な社員、良質の製品といった色々な幸運が重なり合って、会社は5年間で40万ドルの借金を返済する事は出来た。そして、次の15年間で、当社は100万ドル以上の株式配当を支払う事が出来るようになり、会社の純資産は100万ドルを超え、750万ドルにまで達した。

～次週に続く～



ニコニコBOX・・・・・・・・

- 卓話に呼んでいただきありがとうございます。
谷口地区国際奉仕VTT委員長
- 谷口委員長、ようこそ留萌クラブを訪問ありがとうございます。
渡邊会長
- 谷口委員長、留萌へようこそおいで下さいました。本日よりお願いします。串橋会員
- 谷口委員長、ようこそ留萌へいらっしゃいました。
燕会員
- 谷口委員長、ようこそ留萌へ。本日はありがとうございます。
櫛井会員
- 活動報告書が出来上がりました。ご協力ありがとうございます。
福士会員

前 回 322,600円

今 回 24,000円

累 計 346,600円

📄 プログラム・・・・・・・・

「ロータリー財団について」

国際ロータリー第2510地区

国際奉仕V T T委員長

谷口 正樹様 (滝川RC)

地区の国際奉仕V T T委員会の委員長をしている谷口でございます。本日はお招きいただきありがとうございます。

実は地区の国際奉仕委員会とV T T委員会というのは、昨年まで別々の委員会でございました。今年度のガバナーの武部さんの方針に則り、二つの委員会が合併という形になりまして、国際奉仕とV T T事業を行っております。実は私は奉仕プロジェクト委員会というところの委員でもありますし、財団委員会の委員でもあります。3つの委員会に所属し、日々ロータリーに追われる毎日でございます。先ほどご紹介していただいた通り、私は滝川RCに11年前に入会しまして、偶々渡邊ガバナーが出た時に私も地区に出まして、そのまま現在に至ります。

本日は、財団についてお話をさせていただきます。まずはビデオを見ていただきます。この手のビデオは、ロータリーのインターネットのホームページを見ますとPRビデオが沢山出ています。これはロータリー財団が今年で100周年を迎えるからで、今年度の6月10日から行われるアトランタでの世界大会でロータリーの財団100年を祝おうという趣旨の中で開催されます。本日配られましたガバナー月信の最後のページにアトランタ大会の広告が載っております。6月10日から開催されます。ぜひ皆様もアトランタの大会に参加されてはいかがでしょうか。私も参加しますし、世界中から集まったロータリアンと集うチャンスでもあります。財団とは何ぞやとか、世界中でロータリアンがどんな活動をしているのかを再認識する場にもなると思います。

それでは、私たちの身近な所の財団についてお話いたします。財団では皆さんから寄付をいただいておりますが、用途指定寄付、先ほどビデオでビル・ゲイツが話していたポリオ撲滅な



どに使われる使う目的が決まった寄付、ロータリー平和センターというものを設立して、平和に関する教育等々にあてる事業も行っております。この辺の事業はR I主導で行っておりますので、我々がどうのこうのとは言えませんが、皆さんからいただいたお金を利用させていただいております。それと恒久基金寄付、それから年次寄付があります。皆さんからいただいた寄付は年次プログラム基金として財団の活動資金になります。これらはすべて財団の活動資金の中に入ってきて、そのお金から管理運営費(事務経費)ですが、これを引いて国際財団活動資金、地区財団活動資金とし5%、45%、50%という形で分割されます。地区財団活動資金というお金が地区の財団委員会にお金が入ってきて、これを地区の補助金とグローバル補助金で約半々に割っていくような形をとっています。

3年前の年次寄付金と、恒久基金の運用益の50%が地区財団活動資金として財団から地区に入金されます。また、新地区補助金は一括して地区に支給されますが、地区活動資金(DDF)の50%までを利用することが出来ます。地元で生じたニーズに迅速に応える柔軟性を持つと同時に、海外や地元のクラブと共同でプロジェクトの実施を計画する目的にも使用できます。また、留萌クラブでも地区の補助金を使った奉仕活動をされているようですが、この補助金は活動資金の半分の半分、1/4を使って、各クラブが事業を申請して使う事の出来る補助金です。これは人道的補助金プロジェクトで、各クラブからの申請を受け各クラブに分配するプロジェ

クトになります。

それと奨学金ですが、これは地区として奨学生を出しておりますので、これに使っております。また、職業研修チームという事でまさにV T T事業ですが、当地区はグローバル補助金がついておりますので、このお金は特段たくさん使っておりません。このグローバル補助金とは何かと申しますと、ロータリー財団に対し6つの重点分野に対し、

1. 平和と紛争予防
2. 疾病予防と治療
3. 水と衛生設備
4. 母子の健康
5. 基本的教育と識字率向上
6. 経済と地域社会の発展

について大きな成果と長期的な持続が望める大規模な国際プロジェクトを支援するもので、当地区として、V T T事業に対してお金をいただいております。V T T事業ですから、職業研修チームとして地区で取り組んでおります。

もちろん皆さんご存知だと思いますが、寄付の種類についてお話しますと、皆さん1年間に100ドルの寄付を続けておられると思いますが、これは年次寄付として1,000ドルに達するとポールハリス・フェローと言われ、1,000ドルごとにマルチプル・ポールハリス・フェローの表彰があり、1万ドルで大口寄付者になります。また、25万ドルに達するとアーチ・クランフ・ソサエティとなります。そしてポールハリス・ソサエティは、毎年1,000ドル以上の寄付をする人の認証です。この財団への寄付は本来は1つの所に寄付をいたしますが、アメリカの財団の下に地域財団を作ると寄付を集めるのにも奉仕活動にも便利ということで、カナダ、ドイツ、インド、イギリス、オーストラリア、ブラジル、日本などにあり、これは基本財団と呼ばれ、一度我々の寄付したお金は日本財団に入り、皆様には日本財団の領収書いただいていると思います。

公益認定を受けた事によって、税制の優遇処置が受けられます。例えば、一定寄付額から2,000円を引いた寄付額が総所得金額から控除

されます。ただし、年度所得額の40%以内である事になっています。

最近の補助金の配分についてお話しますと、地区の補助金の額は7.5万~7.8万ドル位で、年次寄付金は30万~32万ドルいただいております。それで、D D Fではその半額で15万ドルから16万ドルの配分で地区の財団に入り、その半分で当地区としては人道支援事業、地域社会奉仕、国際奉仕、奨学金、V T T、青少年奉仕活動などの費用として使わせていただいております。

2015~16年度については、皆様方のクラブに地域社会活動費として3万8千ドルが分配されて出されております。地区補助金のプログラムを申請するには、主要連絡担当者を設けなさいとか、専用口座を作りなさいとか、クラブの覚書、同意署名を用意するとか、奉仕活動の準備計画の提出、実施報告をするなど色々なルールがございます。

それでは、グローバル補助金を使った地区のV T T事業のビデオを見ていただきます。ロータリークラブのホームページにも財団100周年としてネットの動画がたくさん掲載されておりますので、ぜひこの機会をご覧ください。

時間が無くなってしまい、最後の方が尻切れになってしまいましたが、これからもぜひロータリー財団に対してのご協力と地区に対してのご支援をよろしく願います。本日はありがとうございました。

プログラム

(第17号・第18号) 合併号

●本日

ロータリークイズ
～クイズに答えて、ロータリーを知ろう～

会員誕生日

燕 美 雪

●次週予定

「R財団100周年について」

No. 2718

第18回 11月2日

出席報告

前
例
会

会員総数……………38名
出免会員……………6名
出免出席……………2名
基準会員出席……………19名
出席率……………61.77%

前
々
会

第15回 10月12日

欠席会員……………12名
内メイクアップ……………2名
修正出席率……………72.23%

例会／毎週水曜 12:15～13:15 留萌産業会館2F

📰 幹事報告 ……………

・芦別RCより11月の例会案内を受領しました。

🎵 愛好会 ……………

音楽カラオケ愛好会 高田 愛好会幹事

先週もご連絡いたしました。音楽カラオケ愛好会の第2回目の例会を11月9日(水)午後6時30分よりワンポイントにて開催いたします。参加費は3,000円です。多くの会員の参加をお願いします。



📅 プログラム ……………

「職場見学会」＝陸上自衛隊留萌駐屯地＝



例会出席は義務ですか？ 楽しみですか？

新会員の皆さま、ようこそロータリーへ。初めてクラブの例会に出席した時、少し緊張しませんでしたか？ 不安に思った方もいらっしゃるでしょう。入会間もない人、少し慣れてきた人、すでに委員長を務めている人、新会員と言っても、その状況は違うと思います。

例会に出席するたびに、少しずつ先輩会員の顔と名前がわかるようになってきて、最初の緊張もほぐれてきた、そんな方も少なくないことでしょう。

ちょっと難しい話になりますが、ロータリーにはいくつかの規定があります。その規定は3年に1回見直されるのですが、その会議を規定審議会と言い、直近では今年の4月に開催されました。今、各クラブでは、変更された規定を確認したり、それに基づいてクラブの細則を変更する作業が進められていると思います。皆さまのクラブはいかがですか。

この規定審議会では、例会についても変更されました。原則として毎週開催されることになっていたクラブの例会は、クラブ細則で頻度を変更できることになったのです。

皆さまは例会が減ったら「ラッキー」と思われますか。それとも「残念」と思われますか。忙しいと「例会に行く時間をつくれないう」「例会に行くのが面倒だ」と思うかもしれません。そんな時「例会が隔週だったらいいのに」という考えが頭をよぎると思います。しかし、例会に出席し、顔を合わせてこそ先輩の顔と名前を覚えることができますし、親しい人が増えるのだと思います。親しくなれば、先輩からは、ロータリーのこと、仕事のこと、趣味

など、たくさんのお話を聞くことができます。

ですから、例会の頻度がどの程度であれ、例会がそれぞれのクラブにとって、皆さまにとって大切なことに変わりはありません。

ロータリーでは「例会の出席」を、「会費の納入」と「雑誌の購読」と合わせて、三大義務と言っています。しかし、忙しい仕事の合間を縫って出席するので、義務と言われても気が進まないというのも当然のことです。

義務としてではなく、「楽しいことがあるから例会に出席する」ようになっていただきたいと思っています。

さて、クラブのご長老と呼ばれる方たち……、この方たちは、新会員の皆さまにとって遠い存在かもしれません。年配の、特に男性会員にはシャイな方が多いので、気にはなっていない自分から声をかけることができない、という人が多いのです。皆さまから「こんにちは」と声をかけてみてください。きっとニコニコしながらあいさつを返してくださると思います。

次のステップとして「入会されたころ、このクラブはどうでしたか？」と聞いてみてはいかがでしょうか。クラブの例会の様子や当時実施したプロジェクト、入会したばかりのころの失敗談などを聞くことができると思います。

クラブで委員長を務めている会員、この人たちが一番ロータリーの最新情報をご存じだと思います。わからないことがあったら、どんどん質問してみてください。皆さまより少し前に入会した会員たちとはすぐに打ち解けることができると思います。先輩に聞きづらいことがあったら尋ねてください。

例会に出席した時、皆さまから積極的に話しかけると早く名前を覚えてもらえますし、先輩について知ることもできます。こうなってくると、例会の日が待ち遠しくなることでしょう。例会はロータリーになじむための第一歩です。楽しんで出席してください。

『友』編集長 二神 典子

